

交渉NEWS

東日本ユニオン東京地本 NO,41 2021年 8月18日

申第5号「タッチでエキナカ」ならびに「JREPOINTT の新サービス」に関する申し入れ支社回答

2021年4月13日に東京支社に申し入れた、申5号「タッチでエキナカ」ならびに「JREPOINTTの新サービス」に関する申し入れに対する東京支社の回答が、8月18日に示されました。

《会社回答抜粋》

1. 駅業務に関し今後の考え方を示すこと。
「駅の変革」のスピードアップで示した通りである。
2. 今施策実施における予想収益を示すこと。
お客様の要望などにより実施したもので、収益を見込むものではない。
3. 支社内でのICカード利用状況を明らかにすること。
多くのお客様にご利用いただいている。
4. お客様の混乱も予想される、周知と教育を十分に行うこと。
必要な周知・教育は行っている。
5. 業務委託駅との委託契約内容の変更点を示すこと。
委託内容に変更はない。
6. 不正利用には万全の体制と姿勢で臨むこと。
必要な対策は行っていく。
7. JREPOINTT新サービスにおいて切り替え時間に幅を持たせること。
各線区のご利用状況などを踏まえて設定している。



《私たちの主張》

- ・「人にしか出来ないサービスの提供」というが機械への置換でその機会を失っている。
- ・チケットレスなどで遠隔操作システム導入駅などでの問題が解決されていない。
- ・不正乗車は許さない。
- ・収益を考えない施策はないと考える。
- ・「お問い合わせセンター」への問い合わせ件数は？

・列車の遅延などを考慮し“切り替え時間”に幅を持たせるべきだ。

《支社側の主張》

- ・機械に置換されるものは置き換えていく。
- ・“新たな精算機”を予定している。
- ・職場でのコミュニケーションを大切にす。
- ・入場券ベースで言えば売上はUPしている。
- ・SNSではお褒めを頂いている。
- ・不正乗車は許さない。
- ・新 JREPOINTT サービスは「蜜をつくらない」を一つの目的にしている。
- ・一年間のトライアルである。

